

哺乳類

哺乳類

● 概 説 ●

◆市内の哺乳類相の特徴

本市の哺乳類相の特徴は、一般的に日本本土区としての特色を反映する一方、越後平野にモグラ類最大のエチゴモグラが生息するといった特色を有しています。

主な哺乳類としては、市街地付近の海岸林にトウホクノウサギやホンドタヌキが分布しており、特にホンドタヌキは市街地の中心へ侵出してきています。そのため人間やペットとの接触機会が多くなり、皮膚病（疥癬症）などで保護されるケースが多くなっています。また、ホンDOIタチ、ホンシュウジネズミ、クマネズミ、ドブネズミ、アブラコウモリなどがほぼ市内全域に分布しています。

なお、「新潟市史 資料編12 自然 別冊」における新潟市哺乳類目録によると、6目11科19種の哺乳類が収録されています。また、現市域の全域を対象として既存文献等の資料収集・整理を本市が独自に行った結果、記録を確認できる種として28種が見られます。

◆調査・選定の概要と減少の要因

越後平野に特徴的に見られるエチゴモグラについて調査を行いました。生息地の多くが水田や畑地ですが、農地の乾田化、市街地の拡大に伴う農地の改変などにより、個体数の減少が危ぶまれています。

エチゴモグラ

モグラ目 モグラ科

Mogera tokudae etigo Yoshiyuki et Imaizumi

カテゴリー	新潟市 絶滅危惧Ⅱ類	新潟県 絶滅危惧Ⅱ類	環境省 絶滅危惧ⅠB類
-------	---------------	---------------	----------------

哺乳類
〔選定種解説〕

【選定理由】

環境悪化, その他

【形態など】

体長は15~18cm。頭骨はくちさきの幅が狭く、眼窩間隔が広い。切歯列はV型で前方に突き出る。大型のミミズ類を主食とするが、ケラなどの昆虫類も多く食する。

【分布の状況】

市内 市内では、田園地帯一円で確認されている。

その他 越後平野のうち弥彦村、三条市、加茂市、新潟市、五泉市、新発田市を結ぶ線から西側に分布する。また、見附市から長岡市（旧栃尾市）にかけて分布する。



撮影：市域内 写真提供：金安 健一

【減少等の原因】

水田の乾田化（農地の改変）、除草剤の使用による草地の減少、一般開発

参考文献（哺乳類）

本間義治, 1981. 新潟県鳥獣図鑑. 新潟日報事業社.

新潟市史編さん自然部会, 1991. 新潟市史 資料編12. 新潟市.

新潟県, 2001. レッドデータブックにいがた. 新潟県環境生活部環境
企画課.

環境省, 2002. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物. 財団法人
自然環境研究センター.